

教育目標	「学園は教える者と、教えられる者との、相互の信頼によって生かされる精神的な共同体である。」という理念の下、知・徳・体を錬成し、調和ある人間像を確立する。					
経営方針	(1)「自律的な精神」、「思考力と創造的な知性と技量」、「自然愛や人間愛を大切に作る豊かな情操」を培う。 (2)「日本人としての美徳を育て、実践的な社会性を養うとともに、国際化・情報化社会のフロントランナーとして、社会貢献できるフェアなリーダーとしての資質を培う。」					
本年度重点目標	I 知育の推進 II 徳育の充実 III 健康な身体の育成 IV 豊かな生活の追及 V 家庭地域との連携 VI 生徒募集 VII 教育施設設備の活用					
重点目標	評価項目	具体的な方策または項目を評価する具体的な指標	平成29年度の実施状況	職員評価	職員からのコメント 63名	関係者評価 関係者からのコメント 7名
I 知育の推進	授業の充実と 難関大学進学に 向け啓発	① 国・数・英で先取学習実施(後期以降) ② 国・数・英等で反復学習実施(復習・演習) ③ 補習の実施 ④ 進路指導講演実施(高校部・専門家・OB等) ⑤ 学力推移結果受取後の学級/学年指導 情報や目標の共有(中学部・高等部・教科担当) ⑥ 英・数シラバスの見直し 下線部平成29年度新規	① 12月前後以降英数は非検定教科書等も部分使用し、発展学習を行ったが、昨年度よりペースを落とした。 ② 各学年全般の学力を考慮し、反復に時間を割いた。昨年度と同様の傾向。 ③ 数学を主に指名補習を実施、月火木の部活動のない日の放課後30分以内を目安に指導した。理社も活動的だった。 ④ 7月と3月全学年対象に進路課長講演を実施。3月J3対象に旧S3OB講演実施。大学進学の基本、心構え、合格状況等本校の実際に即して説明し、啓発指導した。 ⑤ 主にベネッセテスト・英検の結果について各回後推移・進捗状況を共有できるよう新たにシート工夫し、回覧しその時々々の計画や改善に活かした。 ⑥ 基礎基本の反復を配慮する機会が概ね増えた。 …	A 46.0% B 47.6% C 0% D 12.7%	・ 発展学習のねらいを共有することは大事。 ・ 発展学習の内容を検証し、引き継ぎを行いたい。 ・ 意識が向上する一方、実力との乖離も見られる。 ・ 内進生の超難関大合格は偶然ではない。 ・ 学習習慣が身につけている生徒が多い。 ・ 基本が良い形で実っていると思う。 ・ 学力層の幅についてよく検討し、対応したい。 ・ 六ヶ年の学習の構築を丁寧に行いたい。 ・ 取り組みが成果となって現れている ・ 先に大学受験を意識させるのは良い。 ・ 短期、中期の目標も必要。	A 28.6% B 28.6% C 0% D 42.9% ・ 6年間の過ごし方を折につけ生徒・保護者に語ると良いと思う。 ・ 中学部の保護者も大学視察に参加すると良いと思う。 ・ 難関大学を視野に入れての中高一貫、反復と発展をよく検討してほしい。 ・ 自他ともにどれだけ努力しているか評価できるサマリーがあると良いと思う。 ・ 成績優秀者の生活のレポートを実施し、互いの意識の変革を図るのはどうか。 ・ チーム制での学力向上を推進してみてもどうか。
	外部模試等で 学力把握	① 学力推移調査受験(ベネッセ) 三科目 【偏差値64以上 3/J3、4/J2、4/J1】 【偏差値58以上 2/J3、8/J2、8/J1】 【偏差値47以上 19/J3、12/J2、15/J1】 ② 実力確認テスト(明誠高校入試) J3・J2受験 【順位200以上 3/J3、0/J2】 【順位400以上 3/J3、2/J2】 【順位800以上 8/J3、2/J2】 【順位1000以上 2/J3、2/J2】 ③ 英検受験等 【J1終了時 5級80%以上/学年】 【J2終了時 3級40%以上/学年】 【J3終了時 準2級30%以上/学年】 ④ 英検結果受取後の学級/学年指導 情報や目標の共有(中学部・高等部・教科担当)	① J3 10月② 64以上-1名 58以上-3名 47以上-15名 4月① 64以上-1名 58以上-3名 47以上-13名 概ね良好と言える面もあるが、実力の面からは足踏み状態となった。 目標に向かって切磋琢磨していく手立ては要検討であった。 J2 2月③ 64以上-2名 58以上-3名 47以上-9名 10月② 64以上-2名 58以上-2名 47以上-18名 4月① 64以上-3名 58以上-2名 47以上-13名 年度半ばで全体の底上げ傾向が開始したが、最後に下降した。 十分に分析を行い、次年度に向けて対策を行いたい。 J1 2月③ 64以上-1名 58以上-8名 47以上-19名 10月② 64以上-2名 58以上-4名 47以上-19名 4月① 64以上-0名 58以上-4名 47以上-23名 概ね安定的継続的に底上げが行われた。リーダーの育成と中下位層の推移に十分注意し、次年度の育成を展望していきたい。 ② J3 50以内 2名 100以内 0名 200以内 2名(単独) 400以内 3名 800以内 9名 1000以内 7名 まずまずの成果だが、全般的にもうひと踏ん張り欲しかった。 J2 50以内 0名 100以内 0名 200以内 0名 400以内 2名 800以内 2名 1000以内 5名 ハンディを背負いつつも、実力の一部を発揮した者も見られた。 ③ J3(25名) 1月③ 2級- 8% 準2級- 60% 3級- 28% 10月② 2級- 8% 準2級- 52% 3級- 32% 6月① 2級- 8% 準2級- 36% 3級- 48% 良好な成果が出た。2級対応いかんは反省点とも言える。 J2(43名) 1月③ 2級- 5% 準2級- 12% 3級- 49% 10月② 2級- 2% 準2級- 5% 3級- 35% 6月① 2級- 2% 準2級- 2% 3級- 28% 明誠スタイルに乗り始め、実績、向上心や自覚が向上してきた。 J1(61名) 2級- 0% 準2級- 0% 3級- 8% 4級- 39% 5級- 48% 意欲や自覚が向上してきた。計画的にじっくりと育成していきたい。	A 39.7% B 49.2% C 3.2% D 14.3%	・ 指導方法を合わせていきたい。 ・ 対策にかなりの時間を割いた。 ・ 高校進学後のスタートや伸びに繋がると思う。 ・ 高校進学後コアになる場面が増えてきた。 ・ 英検の成果は、学習成果の大きな目安の一つ。 ・ 底上げの対策が十分ではない。 ・ 外部テストのデータは自己分析に欠かせない。 ・ 着実に活動していることが分かる。 ・ ベネッセの過去問題演習は効果的だと思う。 ・ 学習習慣の確立を今行う事が大事。 ・ 刺激の与え方には工夫が必要である。 ・ 私立中学としての学力把握は大切である。	A 0% B 71.4% C 0% D 28.6% ・ 外部模試によってよい緊張感を持つことができる。継続してほしい。 ・ 入学当初からの推移をよく観察し、目的的に取り組んでほしい。 ・ 英検取得は将来にも有利、自信にもなる。対外PRとして工夫してほしい。 ・ 外部模試によって大学受験準備にもなる。意識作りを工夫してほしい。 ・ 指導方法も向上させていってほしい。 ◇◇◇
	生きる力や総合力を はぐくむ活動の設定	①活動後に、学習・体験の資料整理や展示・発表等の総合力育成の場を設定 ②実行委員会を組織した生徒活動 ③発達段階や興味を踏まえ、朝読書奨励 【10冊以上/年】 ① 学習・体験活動とその目標成果の整理・広報・見える化・発表等の総合力育成の場を設定 ② 実行委員会を組織した委員会・生徒活動 実行委員会と委員会の系統・目標・活動の見える化	① 行事の反省やまとめのレポートを継続的に作成指導した。内容的に分析力・考察力、表現力を向上させるものに少しずつ改善した。第三者に対しても自校の活動をアピールする体制が少し改善した。 ② 中学行事実施の際、HR委員・専門委員を主に実行委員会を編成。社会性と主体性の向上を狙った。上級生から学び、下級生を指導する体制は大分整った。準備活動の途上の情報や事後の成果を振り返り、共有する手立てをさらに整備したい。 ③ 個人の取り組みにまだまだ差があるが、意識と集中力は維持できた。学年ごとの狙いを設定して、定期的に進捗を見るには至っていない。	A 33.3% B 52.4% C 4.8% D 15.9%	・ 諸活動の見直しを行いたい。 ・ ただこなしていく作業になってはいけない。 ・ 諸活動を真面目に継続的に取り組んでいる。 ・ 新テスト(大学入試)対応を展望し、中学時から指導したい。 ・ 先生方の努力も伝わってくる。 ・ 教室掲示によく取り組んでいる。 ・ 行事のねらいの共通理解はもっと必要。引き継ぎも大事。 ・ 朝読書を継続していきたい。 ・ 多くの行事で生徒に良い経験を与えている。 ・ 活動の独自性はまだまだである。 ・ 様々なタイプの生徒がおり、それを踏まえた指導を行っている。	A 0% B 71.4% C 0% D 28.6% ・ 読書の履歴をポートフォリオ作成にも活かしてほしい。 ・ 生徒まかせの読書にならないように注意したい。

	<p>日本文化理解と国際教養養成 (総合学習)</p>	<p>① <u>日本文化理解行事実施【複数回／年】</u> <u>J1 富士調べ・自然への畏敬</u> <u>J2 寺社研修:神仏習合</u> <u>J3 寺社研修:和の精神・変容の精神、武士道</u> ② <u>講演や交流会の実施・研究</u> <u>J1 科学</u> <u>J2 医療・企業</u> <u>J3 医療・企業・郷土</u> ③ <u>英会話授業【週1回】とアウトプット実践</u> ④ <u>禅寺の活用</u> ⑤ <u>国際教養講話実施</u></p>	<p>① J1 4月御殿場宿泊研修、10月三保の松原・久能山東照宮、3月盲導犬の里富士ハーネス・富士山世界遺産センター J2 4月可睡齋宿泊研修、3月磐田ヤマハ発動機見学 J3 4月藤枝蓮花寺池公園・郷土博物館、10月関西修学旅行 J1で地元や富士への理解、J2で寺社やキャリアへの興味関心喚起、J3で地元再考、日本文化・古都／主要都市実地研修の機会とした。 ② J1～J3 10月ディスカバリーパーク科学講演 J2 10月JICA・ジャパンマリン・上野博物館等訪問見学 J3 4月藤枝蓮花寺池公園・郷土博物館研修 事前事後指導を実施し、研修レポート作成と掲示を行った。 ③ J1～J3 週1回の英会話TT授業及び年3回のスピーチ指導実施。 外国語活動の多様化に貢献、英検の成果にも反映された。 ④ 学園原点のスピリットの一端を実地研修する機会としている。J2が4月に可睡齋研修実施。事前事後指導等活用法再考まだまだ必要。 ⑤ (月)1限全体講話として実施。7月日本人と和の精神、11月A・Aの現在インド、1月ヨーロッパの現在 アイスランド、毎年実施。 J2は10月オータムキャンプひと月前に日本造船工業会による海洋講演も実施。</p>	<p>A 38.1% B 44.4% C 0% D 17.5%</p>	<ul style="list-style-type: none"> 諸活動よく計画されており、充実している。 中1段階での指導について、皆で検証したい。 生徒の実践力の向上に期待していきたい。 研修による文化の理解はできている。 高校部での総合学習やアクティブラーニングの基礎になる意欲的な取り組みだと思ふ。 出前講座の取り入れも工夫してほしい。 行事の意味をしっかりと理解させたい。 それぞれの取り組みが進路意識や学習意欲の向上に繋がると思う。 3年間、6年間をよく見通していきたい。 	<p>A 42.9% B 42.9% C 0% D 14.3%</p>	<ul style="list-style-type: none"> 学外での活動は生徒の意識向上に繋がる。 国際教養を身に付けることは今後の日本経済も必須。中学から様々な角度で学ぶことを継続してほしい。 国際人を育てるには日本文化をよく学ぶことも重要。 日本文化を知ることは国際交流においてもよいコミュニケーションツールとなる。 多くの日本文化に触れる環境づくりをしてほしい。
<p>II 徳育の充実</p>	<p>基本的生活習慣の確立</p>	<p>① 身だしなみと挨拶の指導 <u>校風委員による挨拶運動【1回／月】</u> ② TPOに合わせたマナー・学習態度等を発達段階をふまえて指導 <u>日々の打合せ・情報交換、中学部会</u> <u>生徒に実践と抱負を報告させ、集会で共有する</u> ③ 清掃指導の徹底 <u>日々の打合せ・情報交換、中学部会</u> <u>生徒に実践と抱負を報告させ、集会で共有する</u></p>	<p>① 4月の全体集会で代表生徒のロールプレイを活用し基本を示させ、理解や定着を狙った。集会の折生活態度・マナーについて注意指導を行い、改善を促した。月例校風検査は初めて男女を別担当にして実施し、良好な指導状況が継続した。 ② SHRIは無論、(月)1限「道徳」・(金)6限「特活」・隔週(土)1～3限「MD」時等において、臨機応変に学級指導や学年集会指導を適宜組み合わせ共通理解のもと安定的に対応指導できた。 ③ 概ね良好に取り組み、清潔感が確保された。 清掃の意味合いや効果について啓発指導する機会を設けてみたい。</p>	<p>A 41.3% B 44.2% C 3.2% D 6.2%</p>	<ul style="list-style-type: none"> 挨拶、身だしなみなど良いレベルにある。 道徳や特活など体系的な共通理解がもっと必要。 挨拶の際のブレザー着用はやはり礼儀正しい。 身だしなみ・校風、態度などに好感を覚える。 挨拶指導をもっと徹底させるべき。 一度知り合いになると大変元気に挨拶してくれる。 生徒、先生方の実践は素晴らしい。 階段清掃の甘さが目立つことがある。 	<p>A 28.6% B 57.1% C 0% D 14.3%</p>	<ul style="list-style-type: none"> 私学として基本的生活習慣は十分に確立されていると感じる。 これからも良い状態が続く事を期待したい。 あいさつは控えめに感じる。 地域の挨拶は明誠がリーダーになってほしい。 この環境を維持発展させてほしい。 基本的生活習慣を身に付けることは大学受験や就職に繋がる。 ◇◇◇
	<p>特設道徳の充実と行動化</p>	<p>① 本校理念の浸透、一斉道徳・講話実施【10回／年】 ② ボランティアの実施【複数回／年】 <u>FWの活用も視野に入れる</u> ③ 自律性と社会性を培う場を設定し行動化を図る ④ 交通マナーの指導 <u>交通安全教室【1回以上／年】</u> <u>交通安全委員呼びかけ</u> ⑤ 道徳資料「私たちの道徳」活用 <u>教材学習時は必ず資料として活用</u> ⑥ 情報端末使用時の人権問題啓発指導 <u>講演実施と集会等で啓発指導</u> ⑦ 「いじめ」皆無の指導 【調査3回／年】</p>	<p>① 年間計画に基づき指導要領に沿った題目について、全体集会にて実施した。「道徳」の三分の一を活用。担当は、校長・中学教頭・中学部長。ワークシートを準備し、グループワークを実践開始した。「考え、議論する道徳。」の準備。生徒の反応は様々、全体で行うことの長短を実感した。 4月:強い意志、6月:謙虚、7月:和の精神 9月:弱さの克服、10月:日本人としての自覚、12月:生命の尊重、2月:感謝 ② J2スプリングキャンプ時に愛野公園にて清掃活動実施、J1・J3 11月には学校敷地周囲と藤枝駅南口周辺の清掃活動実施。生徒の取り組みは良好。 ③ 各集会や行事における主体的な活動は頼もしく、高校部やその後のための基盤づくりとなった。学園祭や体験学習会などでさらに活動的にさせたい。 ④ 4月集会にて校地内・学校周辺の注意点やマナーについて中3生が下級生に助言を行い、意識を高揚させた。内容の改善や工夫の余地はまだある。5月にマジオ自動車学校による交通安全教室を実施した。平素の計画的な安全教育も必要だと感じる。 ⑤ 全体道徳のワークシートに盛り込み、全学年横断的に活用した。 ⑥ 7月にNPOイーランチによる携帯安全教室実施。 ⑦ 小競り合いの段階で指導したり、協働的に予防対応したことにより、大事に至ることがなかった。チームワークが良く機能した。</p>	<p>A 28.6% B 50.8% C 3.2% D 17.5%</p>	<ul style="list-style-type: none"> 交通指導は年間的に行う工夫がもっと必要。 多角的多面的に道徳・人間教育を捉えていることがよく分かる。 学年学級の計画力・実践力を向上させたい。 ネットマナー学習はますます大事になると思う。 	<p>A 0% B 71.4% C 0% D 28.6%</p>	<ul style="list-style-type: none"> 交通課の人の話があっても良い。 交通マナーの実践力をあげるために年間を通じて取り組んでほしい。 德育は重要。勉強だけで来ても駄目。 十代後半に繋がる大切な時期であることを常に意識してほしい。 様々な取り組みは、中学部の環境づくりに良い影響を与えている。

	<p>個を尊重する意識の醸成と態度の育成</p>	<p>① 情報交換で個の把握 【月次±α 定例会実施】 ② 欠席・遅刻の減少【月次皆出席】 ③ 生活帳の熟読とコメント【月次皆提出】 ④ 個別指導には、養護・カウンセラー・生徒課の活用 ⑤ 中学生生徒理解研修会 【全職員で7月に実施】 <u>研修会用資料書式の改訂</u></p>	<p>① 各ミーティングでの情報交換が迅速化し、対応の精度が高まった。 ② 長欠や諸事情を抱える生徒・家庭への対応を迫られる傾向有り。 ③ 担任の熟読、アドバイス記入、情報交換をよく継続した。 初期対応の精度が向上し、アドバイス記入を生徒の自尊感情を高めることに活用した。要注意事項については対応を協議し、連携して臨んだ。 ④ 生活が不安定になりがちな生徒に関して、支援方法を部長・教頭を含め協議し、家庭と連携した。年度末には外部講師を招聘し、生徒指導支援技術について研修した。 ⑤ 7月に実施し、中学部の各担任より顕著なあらわれについて報告した。 情報や指導方法について共有し、職員同士の連携を高めた。 生徒の自己有用感を伸ばすことに資する機会とした。 研修会用資料書式の改訂を進めている。</p>	<p>A 38.1% B 38.1% C 4.8% D 19.0%</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・ 中学部全体での個人の情報交換や生活帳へのコメントについては継続していきたい。 ・ 面倒見がとてとも良いと思う。 ・ 生徒理解の研修時の資料が充実している。 ・ 中学部でのコミュニケーションが増大した。 ・ 高校部との情報交換をもっと行いたい。 ・ 各関係者間の連携がよく取れているように思える。 ・ 担任のサポートはとてとも厚いと思う。 	<p>A 28.6% B 42.9% C 0% D 28.6%</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・ 様々な方面からのアプローチで身心ともに成長していくことができる。 ・ 人格形成のために現在行われている指導をこれからも継続してほしい。 ・ 大変だと思うが、大切なことなので継続してほしい。 ・ 個を尊重し、自立心を養ってほしい。 ・ 家庭との連携を色々な形で検討してほしい。
<p>Ⅲ 健康な体の育成</p>	<p>団体行事の用意 (団体行動や行事運営の基本も学習)</p>	<p>① スポーツデイ実施【参加率96%以上、3回/年】 ② 身心の持久力育成 【耐寒持久走会参加率96%以上】 ③ 体育大会の活用 【長縄跳び30回以上】【行進評価80%以上】 ④ 武道奨励(男子:柔道、女子:剣道) <u>時数の確保</u> <u>ねらいの理解と浸透</u> ⑤ 部活動奨励【参加率80%以上】 ⑥ ダンスデイ実施</p>	<p>① 7・12・3月に実施。12月からJ2中心に運営した。男女混成チームが概ね普通となった。その長所短所を十分に観察し、集団育成に役立てたい。 全体参加率: 7月97%、12月98%、3月95% ② 天候に恵まれ予定通り実施。スタート・ゴール地点は市道上とした。 栃山川周回コース2周。予め当局には許可申請や連絡を済ませた。 出走率: J11: 80%, J12: 90%, J21: 91%, J22: 81%, J31: 88% 全体: 87% ③ 一つの目標に向かって取り組み、集団育成に活かす。行進や長縄跳びについて目標には及ばなかったが、新しい意識を持つことが出来た ④ 耐寒持久走会指導終了後武道にスイッチする。本校にとって欠かせない取り組み。柔剣道は11月以降実施。啓発指導は欠かせない。 ⑤ 中高一貫の集団育成の好機。啓発指導も行い明誠生らしさを涵養している。 加入率: J11: 93%, J12: 93%, J21: 95%, J22: 86%, J31: 96% 全体: 93% ⑥ 11月オープンキャンパス最終日(土)に実施。見学者数は、100名前後。 表現のねらいについてチームの紹介時にアピールを必ず入れるよう指導した。オリジナルさを演出することに意欲的なチームも出てきた。 昨年度と比較してレベルアップした部分がよく見られた。</p>	<p>A 46.0% B 49.4% C 3.2% D 6.3%</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・ 生徒数増加を踏まえた実施方法について検討したい。 ・ スポーツデイ等皆で楽しく取り組めた。 ・ 生徒が主体となって活躍する場面が増えた。 ・ 体育大会でも日頃の取り組みの成果が出ていたと思う。 ・ 諸行事で充実した生徒の表情をみると成果があると思える。 ・ 活動の充実感や達成感をさらに向上させる指導を検討したい。 ・ ダンスデイ等で生徒同士の繋がりがもっともったほうがよい。 ・ 生徒をたくましくしてほしい。 	<p>A 14.3% B 57.1% C 0% D 28.6%</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・ みんなで一つのことをやり遂げ、一体感を感じる経験は大切。 ・ タブレット端末の利活用について、推進してほしい。 ・ 不易流行があってもよい。 ・ 男女共学の良さを生かし、団体生活を円滑に送れるようになってほしい。 ・ 文武両道の実践力を培ってほしい。 ・ 教室での授業の他に、自分を磨きアピールする場所を確保し、個性や自信を高めてほしい。 <p style="text-align: center;">◇◇◇</p>
<p>Ⅳ 豊かな生活の追及</p>	<p>特別活動や課外活動の準備と充実</p>	<p>① キャリア教育の推進 【土曜に設定 7時間/年】 ② 青藍祭に、学年・学級で参加 <u>実践力やボランティア精神を磨く場とする</u> <u>掲示には価値観教育への成果を必ず記す</u> ③ フィールドワーク (創作活動・施設/史跡見学)【数回/年】 <u>制作物の起源や発展を調べ、身の回りの物のありがたみを知り、そこから楽しさを得たい。</u> ④ 芸術鑑賞・修学旅行等の事前指導 <u>事前調べて、切り口を発見する楽しさを覚えたい。</u> ⑤ 行事や活動のまとめと展示 <u>ねらいと学び、次の行事(節目)に向けての展望を記させる。</u> ⑥ 学級集団の向上(行事・授業等活用) <u>プレゼンやスピーチ活動を活かし、コミュニケーションのクオリティを上げる。</u> ⑦ 区市町及び各種団体からの応募活動に参加 <u>参加コンテストを固定化する。</u> ⑧ 金曜6限「特別活動」の有効活用で集団育成 <u>混成集団をつくり、より交流を深めたり、人間関係の幅が広がる活動を積極的に計画する。</u></p>	<p>① 年間特別活動計画に沿ってベネッセのワーク・ファイル等活用。 多少変更を加えながら、楽しく自己探求ができる手立てを工夫した。 年次毎の流れが明確に出てくるように取り組みたい。 ② 模擬店・アトラクション(J3)、展示(J2・J1)等の活動に取り組んだ。案内や会場説明を番番で行うなど主体的に会場を運営した。創意工夫の面はまだ改善の余地が多いが、気配りの仕方など学びつつ今後の自身の人間性の伸長に資することが出来たのではないと思う。 ③ 7月制作体験J1(漆塗り粉貝箸)、J2(陶芸)、J3(陶芸)。受け入れ側の設備に故障があり、J2は急遽(染め物)から変更した。 3月J1 富士ハーネス、富士山世界遺産センター、J2 ヤマハ発動機、J3 修了親睦会(ラグーナ蒲郡) 事前事後指導の一層の深化に期待。 ④ 11月和太鼓演奏鑑賞 事前指導時の調べ学習に労力をさらに注ぐことによって、事後学習の成果を期待したい。発展性の面で自分のもの・チームのものにしてほしい。歴史や文化への興味関心を維持したい。 ⑤ ワークシートが充実してきた。一層の展開を図っていきたい。 注意しないと記述が画一的になりやすいのでその点は十分指導が必用。 振り返りの際個人の考え方、感じ方、生き方まで記述できるようになるとよいと思う。主体性・自己有用感・自尊感情を導き出したい。 ⑥ 生徒主体の行事の企画運営の機会やそれらの指導について計画的に実施しているが、パターン化の短所の面も少し出ている。学級内でのグループワークを奨励し、生徒同士の意見の交流の機会をさらに設け、議論させたい。 ⑦ 呼びかけに留まる傾向が出てきた。学年・学級で参加を明確に打ち出し、活動の成果を共有できる体制にしたい。 ⑧ 目標に沿って学年で活動する機会が増えた。混成による活動を増やし学年のアイデンティティーづくりも意識したい。時道に活動し、引き続き生徒の充実感や満足感の向上に繋げていきたい。</p>	<p>A 42.9% B 39.7% C 3.2% D 14.3%</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・ 行事への取り組みを見直し、事前・事後指導の効果を向上させたい。 ・ 取り組みにもっと余裕があれば、成果はさらに向上するはず。 ・ 芸術鑑賞時のマナーが良かった。 ・ 大学受験時のポートフォリオ作成に生きる指導となっている。エビデンスの保存と継承について検討の余地があるのでは。 ・ キャリア教育をもっと体系化したい。 ・ 生徒の主体性と実践力をさらに向上させたい。他の中学校でできないことができると思う。 ・ 生徒が意欲的に学ぶ姿勢が見られる。 	<p>A 42.9% B 28.6% C 0% D 28.6%</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・ 充実した活動ができていると思う。 ・ 活動のクオリティ向上にもっと取り組んでほしい。 ・ 主体性や実践力をあげる研究をしてほしい。

V 家庭・地域との連携	対話の増加	<p>① 面談の奨励(希望面談も用意)【4回/年】</p> <p>② 保護者会実施【6月・2月で参加率100%】</p> <p>③ 行事文書配布【2週間以上前】 子供の現れの連絡(けが・病気含む)</p> <p>④ 内進高校生の情報も含め生徒の良い点の発信 中学部だよりの活用</p>	<p>① 4月新年度個別面談①、7月夏休み三者面談、11月個別面談②、オープンキャンパス中希望面談、11月～2月個別面談による進級指導等実施。</p> <p>② 6月地区別懇談会(交通安全対策・夏の準備)、2月学級/学年懇談会(進級準備)。参加率についてはおおよそ達成。</p> <p>③ 各行事2週間前に通知を配布した。内容が気になる場合、教員間で対策を練り生徒や保護者とコミュニケーションをとり、対策を練った。</p> <p>④ 7月と3月に全学年対象に進路講演会実施。自校の進路の基本知識や現状について説明してもらった。自分のイメージづくりに役立てた。 2月にはJ3対象で内進S2生徒に講演してもらい進級指導した。 さらに3月には卒業内進S3生徒に講演してもらい、高校時代の過ごし方学習・生活・悩みへの対処法などについてアドバイスをしてもらった。 中学部だよりを本年度より発行開始した。</p>	<p>A 36.5%</p> <p>B 31.7%</p> <p>C 1.6%</p> <p>D 30.2%</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・保護者への対応はかなり手厚いと思う。 ・中学部だよりは充実している。 ・先生方が密に連絡を取り合っている姿が見られる。 ・生徒との対話の機会を多く設けている。 	<p>A 71.4%</p> <p>B 0%</p> <p>C 0%</p> <p>D 28.6%</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・本校は保護者対応は手厚いと感じる。継続してほしい。 ・明誠ならもっと保護者と連携を強めることができるはず。 ・家庭との連絡は大事な時期だと思う。 ・中高の連携についてさらに研修できるのではないかな。 ・同じ学園内で中高一貫生が生活をしている。生徒及び保護者間の何か繋がりを持てる機会を設けてほしい。高校生活や大学受験への不安を遣ってくると思う。
	広報活動の充実	<p>① 中学部だよりの発行【12回以上/年】 学年通信の発行【8回以上/年】</p> <p>② 子供安全連絡網の活用</p> <p>③ オープンキャンパスでのアンケート実施 【参加率2回で100%】</p> <p>④ ホームページの充実と行事や発表会の開放</p>	<p>① 年間8回発行。写真を必ず入れ、親しみやすく時事の学校ニュースを紹介し、また、学校活動の目標と実際を紹介し、保護者の理解を促した。</p> <p>② J3修学旅行前の台風接近により事前の調整が必要となったが、その際保護者への連絡手段として大変役立った。各方面で活用を検討しても良いと思う。</p> <p>③ アンケート内の各意見に対し適切に対応した。 参加率は昨年度と比較して改善し、ほぼ目標を達成。</p> <p>④ 科学講座、キャリア講演、ダンスデイなどの発表会を本年度も学校見学の小学生や保護者にも開放した。特に科学系には周到な準備が必須。 ホームページの更新については課題が残る。</p>	<p>A 39.7%</p> <p>B 38.1%</p> <p>C 1.6%</p> <p>D 20.6%</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・中学部だよりの写真が不鮮明である。 ・HP上の情報発信が高校より薄いと思う。 ・行事報告がすぐに共有されるとよい。 ・たよりが出るのが少ない。 ・たよりを通して、取り組み、頑張りがクリアな形になっていった。 ・人が集まっている場面が多くなった。感心・関心が高まっているように思う。 	<p>A 57.1%</p> <p>B 14.3%</p> <p>C 0%</p> <p>D 28.6%</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・HPをもっと活用すべき。 ・HPの情報更新の研修をしたらどうか。 ・他校の保護者から明誠について聞かれる。保護者目線の情報発信について研修したらどうか。 ・学校の様子を知ることによって保護者の安心感が高まる。 ・活動のクオリティのさらなる向上に期待したい。 ・継続と改善を意識してほしい。
VI 生徒募集	渉外活動の充実	<p>① 説明会や講習会・オープンテスト等実施</p> <p>② 小学校や塾への渉外活動</p> <p>③ 各種行事の活用 (文化祭、吹奏楽部定演・ミニコンサート等)</p> <p>④ リーフレット作成</p>	<p>① ・説明会 6/10 -43世帯, 7/1 -37, 8/5 -62, 9/12 -51, 10/14 -42 11/4 -77, 7/8掛川 -0・静岡 -0, 名簿世帯数:188 前年比164%</p> <p>・講習会 9月 -57名, 11月 -58名 前年比101%</p> <p>・プレ8月 -65名、オープン①9月 -82, ②11月 -88 前年比117%</p> <p>講習会・オープンDMとTELで、勧誘とバックアップを実施。リーフレットによる事前申し込みも積極的に促進し、進捗を分析しながら補強活動を実施した</p> <p>・野球説明会9月 -4、練習会8月 -76 4・5年説明会10月 -17, 2月 -55</p> <p>・4・5年説明会 10月 -17, 2月 -55</p> <p>・4・5年体験学習会 部活8月 -10, 英語10月 -43, 理科2月 -97</p> <p>・入試 一次 84 :単73 併11 二次 7 :単7 前年比128%</p> <p>② 小学校訪問110校以上 前年比137% 5月(学園祭前)・7月(夏面談前)・2月(学習会前)の3回を基本とし、臨機応変にバックアップ訪問 志穂・小笠・静岡地区の有名個人塾を訪問。学校案内・入試行事リーフレット・学園祭/体験学習案内・通学バス案内・通学費補助案内等々配布。</p> <p>③ 学園祭や定期演奏会に合わせて学校訪問し、ポスター・リーフを配布しつつPRした。また、名簿を活用し同時期に案内状も送付し相乗効果を狙った。 4・5年対象の10月英語/2月理科体験学習会については、ひと月前より訪問活動を開始し、また招待状を送付。実施2週間前にはPRを概ね済ませていた。学校への好感度・期待値は良く向上し、参加児童は増加した。</p> <p>④ 入試行事年間予定リーフレットに加え、各種リーフ(講習会・オープンテスト・体験学習会・通学補助支給)を先回りして適時送付配布した。今年度もA3版体験学習会用自家製ポスターを校外で掲示推進した。体験学習会用の広報なら公立機関に掲示が可能で、広報推進できる。</p>	<p>A 54.0%</p> <p>B 31.7%</p> <p>C 0%</p> <p>D 14.3%</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・参加者は増えた。 ・クオリティ向上を図る工夫が求められる。 ・学校としての強みをさらに明確にし、発信していきたい。 ・積極的な活動の成果が現れた。 ・広域活動の成果が出ていると思われる。 ・協力的に募集活動が行われている。 ・本校への関心は向上し続けている。 本校の良さを伝える機会が多く、良い。 ・数年先を見据えての渉外活動は実に機能している。また、体験学習会は効果的である。 ・体験授業は広報機能が高い。 ・以前より中学への関心が高まっていると思う。 ・高校部の成果評判の向上により、中学への関心も高まった。 	<p>A 85.7%</p> <p>B 0%</p> <p>C 0%</p> <p>D 14.3%</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・活動は広く行われていると感じる。 ・本校への関心は高まっている。情報発信に力をさらに入れたい。 ・生徒募集は学校経営の要。 ・活動の継続と検証の共有が大事。 ・難関大学進学実績向上につなげてほしい。 <p style="text-align: right;">◇◇◇</p>
VII 教育施設・設備の活用	快適な教育環境の実現	<p>① 教室内外整理整頓、施錠管理、電源管理の徹底 【放課後巡回 3巡/日】</p> <p>② 駐車場管理【朝巡回/日】</p> <p>③ 設備・備品の保全【放課後巡回 3巡/日】</p> <p>④ 防災教育と訓練の実施【2回/年】</p>	<p>① 4月全体指導実施。集会にて、ロッカー・駐輪場等使い方を実演した。 例年通り一定の成果を確保した。 施錠や電源管理については、SHR・放課後巡回時に注意啓発指導実施。 放課後輪番で3段階で巡回し、ノート記録を継続している。</p> <p>② 朝登校時担任が輪番で巡回し、施錠確認・駐輪方法・整備状況などについて確認指導した。概ね状況は良い。</p> <p>③ HR・集会時啓発指導を行い、また、放課後巡回時適宜啓発注意とチェックを行った。教室内の壁や電気スイッチの破損については反省点が残る。</p> <p>④ 4月全校避難訓練実施。迅速にグラウンド整列点呼報告完了。 9月教室内避難訓練及び防災ワークシート学習実施。 災害安全教育に取り組んだが、少しパターン化した傾向がある。</p>	<p>A 38.1%</p> <p>B 42.9%</p> <p>C 3.2%</p> <p>D 15.9%</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・毎日の管理の意識が良い。 ・生徒の毎日の実践力が向上している。 ・諸活動で培った実践力が発揮されていると思う。 ・教室内の掲示板の箇所を増やしたい。 ・駐輪状況が必ずしも良いとは言えないと思う。 ・いつも整頓され、落ち着いた雰囲気がある。 ・教員の意識向上とチーム力向上について検討したい。 	<p>A 0%</p> <p>B 71.4%</p> <p>C 0%</p> <p>D 28.6%</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・防災局の方から講演をおこなってもらったらどうか。 ・防災教育は継続が大事。流行について研修したらどうか。 ・安全教育や危機管理について知らせてほしい。 ・教育環境を良くしている努力を見ることが出来る。 ・良い管理を継続してい欲しい。 ・当たり前のことをよく理解させる活動を継続してほしい。